

受賞おめでとうございます 東京都赤十字奉仕団功労表彰

永きにわたり、日赤奉仕活動にご尽力いただきましてありがとうございました。
受賞者は、次の方々です。

- <金枠支部長感謝状> 田中 千恵子 飯野 綾子
 - <銀枠支部長感謝状> 平林 勇次郎 岩井 勝子
 - 佐藤 八千代 落合 愛 石川 玲子
 - 天野 ちい子 新野 英明 濱田 弘子
 - 今村 鏗 山崎 京 齋藤 蓉子
 - 豊田 正一 和田 洋 飯田 京子
- (敬称略)

新井宿地区自治会連合会 会長が交代しました

前新井宿地区自治会連合会会長岩井久年様は、本年8月14日に逝去されました。誠に哀悼のいたりにたえません。心より、ご冥福をお祈りいたします。



新連合会会長 鈴木康紀

後任の新井宿地区自治会連合会会長には、山王三丁目町会会長鈴木康紀様を選出されましたのでお知らせいたします。

IRSファイナル 第17回 全日本ドッジボール選手権 全国大会でベスト16

平成19年8月5日、駒沢公園屋内球技場で、標記東京大会が開催され、選抜32チームの中で、入新井第四小学校のチーム「IRSファイナル」がみごと優勝し、東京代表として全国大会に出場しました。

全国大会は、8月19日に大阪府舞洲アリーナで開催され、48チームの中で「IRSファイナル」が堂々ベスト16に入りました。

勝利をめざし、日々、心身共に鍛えている未来っ子たち「IRSファイナル」おめでとう！

編集後記

夏号より新任として参加しました。本紙で地元自治会の地域活動を、皆様に、笑いあり、和みありの委員会よりお届けできることを、嬉しく思っています。私たちの住む地域をより充実できるように、行政と共に自治会の皆様、まちづくりをして下さっている姿

を有難く思っています。新井宿は昔、「荒蕪宿」と書かれ、蕪草が生える荒い磯辺の地であったそうです。ふと周りを見渡すと、歴史の一端がこちらに残っています。このことを次世代の子どもたちに伝えていきたいものです。

<大瀧編集委員>

祝 入新井第二小学校 開校85周年



大正11年4月1日、当時、荏原郡入新井村大字新井宿字皿沼といわれ、湿地帯だった現在の場所に「荏原郡入新井第二尋常小学校」として開校し、翌12年に川端龍子先生考案の桜花に「入新井と2」の文字を組み込んだ校章が制定されました。

関東大震災や戦争の災禍も免れて、昭和22年、「東京都大田区立入新井第二小学校」の校名に変更されました。

この秋には、開校85周年を記念して、10月6日、晴天の下、大運動会が開催され、10月15日には、日本フィルの記念コンサート、10月30日の開校記念日の翌日には、全校児童による感謝とお祝いの記念集會も行われました。

大正、昭和、平成と三つの時代を経て次代につながる入二小には、親子三代にわたって通学する児童も少なくないそうです。ちなみに開校記念日は、昭和12年に、教育勅語発布の日である10月30日に改められたとのことです。



開校85周年記念大運動会

- 発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会
- 山王三・四丁目自治会 編集委員長 高橋 紗英子
 - 山王三丁目町会 副編集委員長 延島 武男
 - 山王三丁目東自治会 編集委員 荒木 秀樹
 - 山王三・四丁目自治会 編集委員 大瀧 真理子
 - 中央一丁目町会 編集委員 齋藤 蓉子
 - 中央四丁目町会 編集委員 若生 一順
 - 新井宿五丁目町会 編集委員 谷口 敏子
 - 新井宿六丁目町会 編集委員 河原 神風代
 - 新井宿七丁目町会 編集委員 石田 小夜子
-共同編集.....

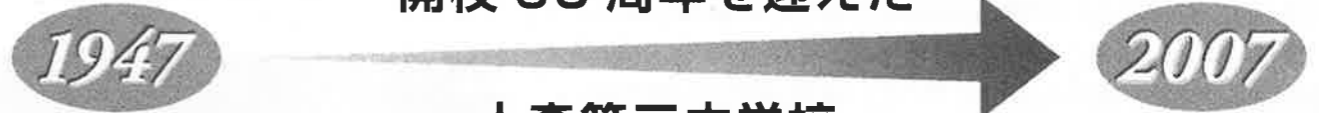
監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央4-31-14 ☎3776-5391
<http://www.city.ota.tokyo.jp/kita/index.html>

わがまち Araijuku 新井宿



タイムワールド、時計(タイムマシーン)
山王小3年 高取 宏太さんの作品

開校60周年を迎えた



大森第三中学校

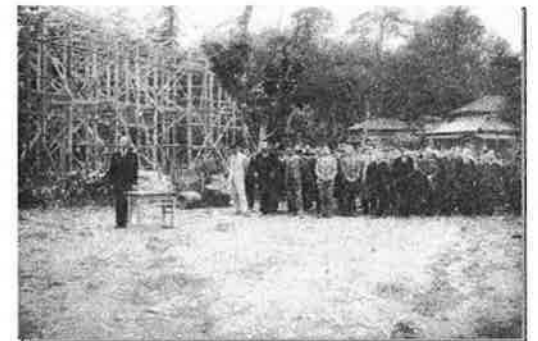
10月19日、大森第三中学校は60周年を祝い、記念式典を行いました。戦後の新しい教育制度に従い、新制中学校として昭和22年5月3日に開設されました。当初は校舎建築の起工もまだで、入新井第二小学校の教室に間借りしての授業始めだったそうです。佐伯山を背にして広がる現在の地に、最初の校舎が建てられたのは、2年後の昭和24年で、校庭には、まだ道路や人家があり、瓦礫と雑草の焼跡でした。先生・生徒・PTAみんなで力を合わせて、草取りをしたという苦労話が残っています。

今、この充実した教育環境の中で学ぶ生徒の皆さん、校歌の一節にあるように、「清く生き篤く学ばん、幸く生き高く想わん」(作詞 池田紫水)の意を継いで、自らの志を叶えてください。

次号(44号)では、学校にまつわる様々なエピソードを紹介します。乞うご期待!!

大森第三中学校の歩み

- 昭和22年 5月 3日 開校式と第一回入学式
- 昭和22年 6月 10日 校章決定、梅の花形に大・三・中を表す
- 昭和24年 9月 1日 新築校舎に移転
- 昭和30年 3月 15日 体育館と第4期増築工事落成
- 昭和30年 5月 15日 校旗・校歌制定
- 昭和32年 8月 15日 プール竣工
- 昭和33年 11月 6日 鉄筋校舎2号館落成式
湯川秀樹博士講演会
- 昭和35年 5月 28日 クラスタ型1号館鉄筋校舎落成
- 昭和37年 10月 25日 天体観測ドーム落成
- 昭和50年 2月 19日 5号館鉄筋校舎落成
- 平成 8年 9月 1日 プレハブ校舎完成、2~5号館取り壊し
- 平成 10年 11月 27日 新校舎落成(鉄筋及び鉄骨3階建)
- 平成 13年 1月 31日 体育館耐震工事完了
- 平成 19年 10月 19日 開校60周年記念式典・祝賀会举行



最初の校舎の上棟式



昭和24年当時の校舎

中央四丁目町会

我が町会は、いにしへの東海道沿いにあり、今も昔も人々の往来のある要所です。地域の暮らしのガイドを担う新井宿特別出張所。その隣の公園には、子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿があり、親には子育て情報の交換場所にもなっています。

道路の向かいには、高齢者のくらしと介護を支える地域包括支援センター大森医師会と大森日赤病院があり、同病院はより質の高い医療をめざして改築工事が始まっています。

大森第三中学校はこの10月に、開校60周年を祝いました。

春一番に咲く河津桜と、趣のある庭も見学できる川端龍子記念館もあり、文化・教育・くらしの情報・病院など利便さも備えた町会です。

大雨、洪水の対策として、白田坂下通りに巨大な地下下水道が建設され、水害から地域を守っています。町内3ヶ所の公園地下には防火水槽が設置されています。結成10年を迎えた市民消防隊は、毎月訓練に励んでおり、9月23日(日)には、防災訓練を実施し、故岩井久年町会長が今春いち早く申し込み、何年かぶりに参加者に起震車の体験をしてもらいました。

地域の安全を願い、暮らしやすい環境をつくるため中央四丁目町会役員は、活動を続けています。

*原稿締切時点で、新町会長さんが未決定のため、町会役員の方に町会の現況を記していただきました。

その2

自治会・町会の会長さんにおたずねしました
— 地域の活動…ポイントは何ですか? —

- ◆自治会・町会の重点課題
- ◆コミュニティの親睦を深めるための取り組み
- ◆自治会・町会の活性化の工夫
- ◆自治会長・町会長として日頃思われていること

このような項目で、皆様に原稿を寄せていただきました。
前号と今号に分けて、ご紹介します。



春日通りの由来碑

新井宿五丁目町会

私は町会長として、地域の方々と親睦を持つように心がけておりますが、その機会も少ないので、日頃、身近な常任理事さんや理事さんにできるだけ機会を作って、皆さん方と語って親睦を深めて貰うことにしております。私としては、日帰りバス旅行を計画し、車窓からの景色を眺め、雑談の場を供して、日頃の雑用から開放された心を癒す一日を過ごしていただけたらと思っております。

防災訓練の避難訓練は、一度、町内を外れて行動してみても如何かと思っております。この実行にあたっての私見を述べさせていただきますと、今までは、一時避難所に定められている入新井第二小学校に、防災訓練として、皆さんが参集することによって、避難訓練をしたことになっております。

しかし、それだけでは、訓練の実感が乏しいように思われます。そこで、広域避難所(平和島公園)までの経路確認を含めた訓練の実施も必要と考えております。

しかしながら、距離的な問題もあり、大森第八中学校の校庭の一部を借用し、炊き出し、救援物資の受渡し等の実施訓練を考えております。この構想については、新井宿七丁目町会と相談して実行したいと思います。

それには、関係機関の了解も必要であり、実行委員会を設け、実現に向けて努力していきたいと思っております。



会長 豊田 正一



入二小体育館での防災訓練

新井宿六丁目町会

◆ 前町会長が防災に重点を置き、町会役員とは別組織で、2年ごとに防災組織の見直しと町内消防隊の整備に力を注いできました。主に市民消防隊は、定期的に放水訓練等実践に対応すべき努力をしております。

◆ まず、町会とはどんな活動をしているのかを知って頂くため、一般の理事は2年交代でいろいろな行事に参加し、町会を内側から見て頂いております。また、子どもたちには祭り、盆踊り等に参加することでふるさと意識、隣組意識の再認識につながればと思います。



会長 渡部 作次

◆ 町会活動の更なる発展については、どの町会も頭痛の種と思います。

家業を継承できれば自然解消する問題ですが、後継者のいない現在では、ご婦人の力と、この街で生まれ育ち、定年を迎え、第二の人生を歩まれる方々の、今まで培ってきた力を発揮できる場所にしていただきたい。

◆ できればわが街を愛する若い力が欲しい。会長としての本音です。幸いにも、当町会は、親和会という若い力に諸行事の陰の力となって支えて頂いており、大変心強く思っています。町の代表として感謝します。



子ども御輿

新井宿七丁目町会

◆ 防犯、防災への取り組みとして、我が町会は大森消防署(山谷出張所)の指導のもと、毎年9月に参加者約200名により、各種消火訓練を実施しております。その他、町会の消防隊が毎月1回災害に対処する心構えで訓練を実施しています。

地域安全については、町会役員が毎月2回以上夜間にパトロールを行い、町内の防犯に努めています。

また、長寿会(老人会)の皆様が、学童の下校時に合わせて通学路のパトロールを行い、防犯に努めています。

◆ 会員相互の親睦と地域の活性化を願って、毎年8月に納涼盆踊り大会を行っています。会場は大森西1丁目会場と大森西4丁目会場を1年交代にし、町会住民のより一層の親睦を図っています。

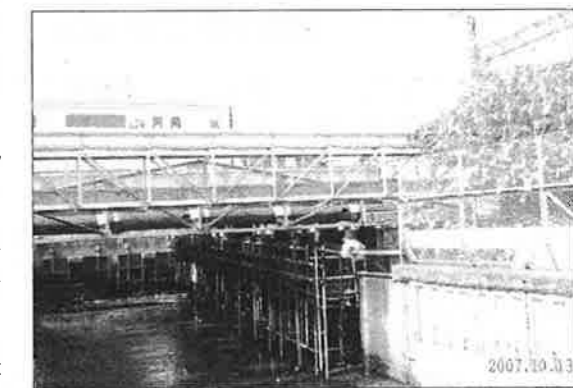
また、毎年10月には入新井第二小学校の校庭をお借りして、町会の大運動会を行っており、今年は31回目になります。

◆ 内川は、毎年夏になると悪臭を発するので、まず、JR下の水門をなくし、昔のように流れる川に戻してほしい、との要望を区に出しております。

少なくとも、三ツ木橋までの間を緑地帯として、快適な散歩のできる魅力ある町作りを進めて行く必要があると思います。



会長 吉川 勉



新田橋から見た内川